

2022年2月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

在ドミニカ共和国日本国大使館

1 内政

(1) 2日付「リスティン・ディアリオ」紙は、1月25日に「Sargent&Lundy」社によって実施されたプンタカタリーナ石炭火力発電所の建設及び運転に係る技術監査により数カ所の欠陥が見つかり、生産性に係るテストが実施されていなかったことが判明したと報道。

(2) 4日、ドミニカ通信庁 (INDOTEL) は、「デジタル・トランスフォーメーション接続性向上」プロジェクトの第1フェーズを発表。同プロジェクトは、米州開発銀行 (IDB) (80百万ドル) の融資により実施され、最も脆弱な136箇所の市区町村に無料の光回線が提供される予定。

(3) 13日、アビナデル大統領は、持続可能な都市モビリティ戦略の一部として、首都特別区 (Av.Churchill-la Avenida Jacobo Majluta 間) の公共バスの運行開始を発表。

(4) 15日、アビナデル大統領及びデ・カンパス労働大臣は、砂糖セクターの労働者賃金を102%、製造及び管理セクターの同賃金の97%引き上げを発表。

(5) 27日、アビナデル大統領は、独立178周年記念日に際し一般教書演説を実施。大統領就任後18か月の取り組みとして、2021年の一般教書演説にて約束した公約の90%以上を実行したことを強調。ウクライナ戦争がドミニカ (共) 経済に与える影響について懸念を表明。

2 新型コロナウイルス

(1) 14日、5歳から11歳までの100万人以上の子どもに対するシノバック社製コロナワクチンの接種を開始。

(2) 16日、アビナデル大統領は、テレビ演説を通じて、当国内で実施されている新型コロナウイルス対策規制措置の停止を発表。マスク着用やあらゆる場所でのワクチン接種証明の提示を不要とし、自己責任の下で感染防止に取り組むよう国民に求めた。

(3) 22日、ペーニャ副大統領は、ドミニカ (共) 政府は他国を支援するため、コロナワクチンを供与する用意があると発言。翌23日、厚生省は、2022年3月に使用期限が切れるアストラゼネカ製コロナワクチン35万回分の焼却処分に向けて準備中であると発表。

(4) 27日、アビナデル大統領は、国家ワクチン接種計画により、2月9日までに約1,500回分(1回目:約700万回分、2回目:約600万回分、3回目:約200万回分)のコロナワクチンが投与された旨発表。

(5) 28日、厚生省疫学総局の発表によると、当国の新規感染者は前日比264名増で、累計症例数は574,556名(うち死者4,368名、治癒者568,322名)。

3 外交

(1) ウクライナ情勢

ア 6日、ドミニカ(共)外務省は、人類に悲惨な結末をもたらし得る大規模紛争に発展するリスクがあるとして、ウクライナの情勢に懸念を表明。

イ 24日、アビナデル大統領は、自身のツイッターを通じて、ロシアのウクライナ軍事侵略は国家間の平和共存の基本的規範に反しており全人類を不安に陥れているとする声明を発表。

ウ 25日、ドミニカ(共)政府は、ホスエ・フィアージョ OAS 大使を通じて、ウクライナに対するロシアの行動に反対する立場を表明。

(2) その他

ア 2日、アビナデル大統領は、スペインとラ米・カリブ海の関係強化に貢献したフェリペ・ゴンサレス・マルケス元首相に対し、特権帰化としてドミニカ(共)国籍を付与。

イ 9日、国連食糧農業機関(FAO)及び農務省は、アフリカ豚熱(ASF)の管理のため、ドミニカ(共)とハイチの獣医サービス及び動物の健康・疫学的監視メカニズムの能力を強化するための技術支援協定に署名。

ウ 15日、アルカティーブ・サウジアラビア観光大臣がアビナデル大統領を訪問し、ドミニカ(共)へのサウジアラビアの投資計画に関する問題等について協議。同大臣は2030年の国際博覧会のサウジアラビア誘致に対する支援を要請。

エ 20日、アビナデル大統領は、ダハボン県国境におけるフェンスの建設(第1フェーズ)及び入国者を登録するための生体認証制御システムの設置を発表。

オ 23日、当国 APEC 大学及び当地韓国大使館は、教育及び文化的目的、及びその他の共有の関心分野に関する協力協定に署名。

4 経済

(1) 2日、Richard Wu ドミニカ(共)中国貿易促進投資局長は、保税區及び物流センターとして機能するダハボン県の「イスパニョーラ国境マルチモーダルゾーン (la Zona Multimodal Fronteriza La Hispaniola)」の開発のための

戦略的提携（投資額60百万米ドル）を発表。同提携は、「Capital Holding」社、「CALYON Finance」社及びドミニカ（共）アジア商業生産投資局（OCPIRD）によって署名が行われた。

（2）8日、アビナデル大統領は、首都メトロ2号線の延伸工事の開始を発表。同工事により2号線のマリア・モンテス駅ーロス・アルカリソス市間の駅が整備される。

（3）23日、アビナデル大統領は、サントドミンゴ県西サントドミンゴ市グアジミア水路の公衆衛生対策改善計画（投資総額約50百万米ドル）の第2フェーズの開始を発表。